



# 上越でかがやく若者たち

■問合せ…総合政策課 (☎025-520-5624)

市の若者向け支援制度も活用いただきながら、市内でまちの活性化やにぎわい創出などに取り組んでいる、若者や団体を紹介します。

**活動を始めたまっかけ**  
第2子妊娠時に切迫早産の診断を受け、約3カ月間入院しました。入院中の家事や育児をどうやりくりするか、不安を抱えながら1人で必死に解決方法を模索していました。調べていくうちに、市の産前産後支援の取り組みが少ないと感じ、同時期に入院していた現メンバーと、子育て支援について話し合ったのがきっかけで活動を始めました。



特定非営利活動法人ふぁみりり  
たかはし ともみ  
代表理事 高橋 朋美さん

市内で子育てをしている家庭の孤独、孤立を少しでも軽減するための支援を行う団体。子育て中の母親を中心に、地域で支え合って子育てができるまちづくりを目指して活動中。

## 活動の目標

「マタニティ&子育て家族フェス」、子育てサークル「いちごひろば」、子育て家庭への訪問支援など、育児中の人が安心して楽しく子育てをするためのイベントや支援の取り組みをしており、利用者から大変喜ばれています。  
私たちの活動を通じて、子育ての苦労や喜びをみんなで見分かち合えるような地域になっていくことを願っています。



「マタニティ&子育て家族フェス」開催時の様子

## 同世代の若者に伝えたいこと

第2子妊娠時の入院中に仲間と出会うまで、普段は高齢者介護の仕事をしている私が子育て支援の取り組みをするとは思っていませんでした。  
人生は何が起こるか分かりません。若者の皆さんには、人との出会いやつながり、志を同じくする仲間を大切にしてほしいです。

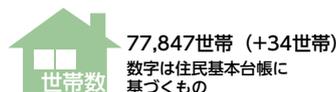
### 広報対話課から

(☎025-526-5111)

「広報上越10月号」は、9月18日(☎)・19日(🌀)に各町内会へお届けし、各世帯にお配りします。届かない世帯の人は、広報対話課または、各総合事務所へご連絡ください。

### 上越市の人口・世帯数

令和7.8.1現在。( )は前月との比較



### 表紙のこぼれ：前島密生誕190年

前島密の創作劇の練習に伺いました。声高らかにセリフを読み合わせる3人の中学生と、それを指導する演出の鈴木さん。その生き生きとした表情からは、若くして冒険の旅に出た密の姿を想起させるような、一步を踏み出すエネルギーを感じました。皆さんも、上演当日に会場で感じてください。

UD FONT 見やすく読みまがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。